

2015年度
日本語
(問題)

<H27092181>

注意事項

- 一 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
- 二 問題は2～7ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
- 三 解答はすべて解答用紙の所定欄に、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
- 四 受験番号および氏名は、試験が開始されてから、解答用紙の所定欄に正確に正しいに記入すること（左の記入例参照）。所定欄以外に受験番号・氏名を書いてはならない。なお、解答用紙が複数枚ある場合には、それぞれの所定欄に記入すること。
- 五 受験番号の記入にあたっては、左の数字見本にしたがい、読みやすいように、正確に正しいに記入すること。読みづらい数字は、採点処理に支障をきたすことがあるので、注意すること。

(記入例)

58001番



万	千	百	十	一
5	8	0	0	1

(数字見本)

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

- 六 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
- 七 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き、解答用紙を裏返しにすること。
- 八 いかなる場合でも解答用紙は必ず提出すること。
- 九 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

一 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

社会・世界では、より多く消費させ格差や孤立を生み出す経済、より強く広く行使される軍事、より狭量で寛容を欠く外交や報道といった状況が、次々と展開し、政治、教育、社会、文化のあらゆる①キョクメンにおいて、大きな力が②暴走している。こうした力は、白か黒か、敵か③味方かといった二項対立的発想に終始する傾向がある。

a、現在の日本の社会において、原子力発電、特定秘密保護法、米軍基地辺野古移設、靖国神社参拝などをめぐる政権それ自体の問題を指摘することは重要である。しかし、それらを支える下意識④（かいしき）——それらを許容、ないしは⑤シジするもの——がいつそう大きな問題であろう。社会の中で起こる出来事に対して、われわれは無関心であり、あるいはあきらめ、または根拠なくナイーブに権力を信頼し続ける。この見えない下意識は、社会の問題を深く認識せず、結果として暴力を許容することにつながる。

こういった時代に、われわれには表現するのみで満足することは許されない。人が自身の意志・感情を表現することで自己満足に留まるだけでは、相互のつながりを⑤見出せないし、社会の課題を解決できない。表現することのみでは十分であるとすれば、表現を超えて、今、われわれは何をすべきか。よりよい社会——平和で人権が守られる社会、問題を解決する能力のある社会、多様性を喜び共生しようと努力する社会——を作るための行為を創り出すことが必要であろう。

b、二元論的発想の社会を、多様な価値を包摂する社会へと変革するには、「平和」を⑥声高に叫ぶようなメッセージを直接的に送信しようとする表現に留まっていたは、実のところ、不十分なのだ。

われわれが今すべきことは、社会・世界の変革のために、様々なコンフリクト（⑦葛藤・対立・紛争）を顕在化させることである。顕在化したコンフリクトが伝達され認識されれば、それを自らの問題として捉える⑧契機が生まれ、潜在していた下意識に働きかけることができる。ではコンフリクトの顕在化とは何か。それは、コンフリクトの所在を表現し、そして伝達することである。それは、どうすれば可能か。

まず、コンフリクトとは何か。それは、人間社会を平和的手段によって転換するための⑨恰好の契機だとされる。武力化したコンフリクト（武力紛争）は暴力であり、コンフリクトの平和的転換に失敗したとみなされる。反対に、平和とは、コンフリクト転換の成功した結果とそこに至る過程を指す。

コンフリクトは、複数の思想・感情を持つ個人内において、また、個人・グループ・国家・地域等の多様なレベルの複数の当事者から成る集団において発生する。当事者は、それぞれに目標を保持しているがゆえに、目標と目標のあいだで矛盾があるとき、コンフリクトが発生する。

コンフリクトの所在を表現し、そして伝達するためには、「A紛争が顕現する芸術」の役割に注目する必要がある。それは「平和を創出する芸術」の中でも、平和のメッセージの直接的な送信に焦点を絞るものではなく、コンフリクトを明示し、人々にその存在を認識させる役割を持つものである。こうした芸術が、社会の中に⑩潜在するコンフリクトを顕在化させ、その構造を⑪暴きだす。

問題の表面的「解決」は、根源的なコンフリクトの⑫カイショウにはならない。これに対して、Bコンフリクト転換論では、コンフリクトを、既に表面化している直接的な対立の部分（可視化できる矛盾の部分）を認識することと同時に、より大きなコンテキストの部分（まだ可視化できない潜在的な要因）を探知する。暴力化したコンフリクト（武力紛争）の表面的な暴力の側面だけに注目するのではなく、暴力の様々なあり方——直接的・構造的・文化的暴力——を認識し、可視的な暴力が終結したからといって、問題が解決したとは考えない。それどころか、場合によっては、武力紛争の表面的終結によって問題の本質が隠蔽されると考える。

c、

非暴力的手段によって、紛争の深部を根本的に

転換しようとする。

d、ヨハン・ガルトウングによる朗読劇『ホーボノボノ「アジア・太平洋の平和」』では、東北アジアと米国の人々を当事者として設定し、相互の関係を、過去・現在・未来の時間を軸に表現している。登場人物である各当事者がそれぞれの視座から十五年戦争を分析するところは、表面化したコンフリクトの表現であろう。

⑬シヤを広げ、「すべきであつたのにしなかったこと」「できたかもしれないのにしなかったこと」について語り、未来のコミュニケーションのために何ができるかを提案するところは、潜在的コンフリクトを表現する。これらのコンフリクトをCえぐりだす表現によって、朗読劇の聴衆はその所在を深く認識し、違和感を持つことで自己内対話を始め、それを周囲と共有し始める。

こうして、fによってコンフリクトの存在が顕現し、鑑賞者の中に潜在的なコンフリクト転換の行為が創り出される。また、gを⑭カイザイさせることで、その過程に関わる人々は、既存の二項対立的言説の⑮枠組みの中に留まるのではなく、新しく自由に感受・思考・行動できるようになる。

奥本京子「表現と伝達の平和ワークー方法としての芸術アプローチ」による

※WGO公開にあたり、著作権者の要請により出典追記しております。
「世界思想」(4号)二〇一四年春

問一 傍線部③⑤⑥⑪⑮の漢字の読みを平仮名で解答欄に書きなさい。

問二 傍線部①④⑫⑬⑭の片仮名を漢字に直して解答欄に書きなさい。

問三 傍線部②⑦⑧⑨⑩の語について、その意味するところと同じ意味をあらわしているものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄に記号で答えなさい。(同じものを二回以上使わないこと。)

ア きっかけ、手がかりとなること

イ ころあい、似合いであること

ウ ひそみ隠れていること

エ もつれ、迷うこと

オ むやみに進むこと

問四 空欄 a・b・c・d・e に入る語として最も適切なものを、それぞれア～オの中から一つ選び、解答欄に記号で答えなさい。(同じものを二回以上使わないこと。)

ア さらに イ しかし ウ たとえば エ また オ ゆえに

問五 空欄 f・g には同じ語が入ります。そこに入る最も適切な漢字二字の熟語を文中から抜き出して解答欄に書きなさい。

問六 傍線部 A「紛争が顕現する芸術」とはどういう意味ですか。最も適切なものを次のア～オの中から一つ選び、解答欄に記号で答えなさい。

- ア 紛争がはっきりと描かれている芸術
- イ 芸術性がはっきりと感じられる紛争
- ウ 紛争も芸術もはっきりと提示されること
- エ 紛争であることがはっきりとしない芸術
- オ 芸術であることがはっきりとしない紛争

問七 傍線部 B「コンフリクト転換論」において、「暴力」の対極にあるものは何だと述べていますか。最も適切な漢字二字の熟語を文中から抜き出して解答欄に書きなさい。

問八 傍線部 C「えぐりだす」の意味として最も適切なものを、次のア～オの中から一つ選び、解答欄に記号で答えなさい。

- ア 水で洗い流すように隠されているものごとを明らかにすること。
- イ 土の中から掘りだすように隠されているものごとを明らかにすること。
- ウ 刃物を刺してくりぬくように隠されているものごとを明らかにすること。
- エ 水で煮て成分を溶かしだすように隠されているものごとを明らかにすること。
- オ 火にあてて文字や絵を映しだすように隠されているものごとを明らかにすること。

二 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

育児は未熟で誕生した子を一人前にする「子供のため」に始まるのですが、それをする人の心と力を発達させるものともなります。それは単に育児のスキルに留まりません。父親たちは子供をもつてから、「迷惑を **a** ないように心がけ」「仕事の意欲がわき」「柔軟になった」と述べています。「育児は **b** 」と言われるように、育児することは、その大人の心と力に発達をもたらします。育児期の男性と女性とが親になる前と後とで自分に起こった変化として挙げたのは、「自己制御」「運命・信仰・伝統の受容」など、一見、育児とは無縁に思える人格面や価値 **c** にわたる多様で広い影響でした。

どの面でも母親が父親より変化発達が大きいのですが、これは母親の育児量の大きさと第一責任者であることによるのでしょう。頼まれたから、手が空いているから、気分転換になど、お手伝いのではなく、自分の責任だと強く意識して育児することがこのような発達をもたらしているのです。育児休暇を取った父親たちにもこの発達が認められています。母であれ父であれ、いざ育児を始めてみると、思うようにうまくいかず、赤ちゃんの前に自分は無力だと思わされる。しかし、待ったなしの育児に格闘している中で、子供の機嫌や体調をうまく ^① 汲み取れるようになる……。

あれこれ工夫して子が満足し喜ぶ経験を重ねることで、親は成長します。子供の養育というものは、親の計画や理想の実行では効果がありません。それどころか **d** 逆効果です。親主導でなく待ちの姿勢をもち、子の特徴やその時の状況をよく見て汲み取って対応しなければうまくいきません。子育ての体験は否応なくこの態度と力を ^② 鍛えます。熱心に努力してもうまくいかない、念入りに計画し準備してもだめになる、といった挫折経験、ところがひょんなところから ^③ コウテンしてしまうことにも出会います。このような体験は人間の知恵や力の限界を思い知らせ、人知を超えたものの意思や力を認めざるを **e** なくさせるでしょう。これは仕事や勉強では味わにくいことです。

全面 **f** に育児を引き受けた父親や育児休暇を取った父親は、最初は慣れない育児に翻弄され、仕事との両立に苦闘しながら、次第に育児のベテランになっていきます。そして、男性はおっぱいを飲ませること以外、女性に **g** ないことは何一つないと ^④ メイゲンし、「女親には **g** ない」は育児しない男性の ^⑤ 言い訳だと異口同音に述べています。そして親になつての発達は母親に匹敵するものになっており、育児体験で体得した、状況をよみ、臨機応変に対処する力は、仕事に生かされるとも語っています。

仕事というものは、しっかり考えて計画し、時間をかけて努力すれば、おおむね ^⑥ それなりの成果は上がるものです。しかし育児はそうはいきません。 **h** 丹念に計画してもその通りにはいかない、それどころか計画は ^⑦ 覆される、努力してもその成果が上がるとは **i** ない。かえって裏目にでることも少なくありません。そこで必要なのは、育てる側の計画や努力ではなく、子供の気持ちや状態を汲み取り、それに寄り添う心です。変わりやすい機嫌や体調に臨機応変に対応する柔軟 **j** が求められます。このような体験が育児する人を鍛え、それまでとは違った新しい感性や力を育てることになるでしょう。

父親の育児 ^⑧ カンヨが少ないことは、配偶者や子供へのマイナスの影響以上に、父親本人の発達に深刻な影響をもたらしています。

家のことは妻に任せ、一家の稼ぎ手となった男性は、職業 **k** の知識や技能を習得し、有能な職業人となるでしょう。しかし、子供との生活や育児から遠ざかった仕事世界だけの生活は、男性にも **l** 備わっている養護性が発揮されず、^⑨ 作動スイッチはオフ状態、ホルモンも活性 **m** されません。育児や家事はおろか、自分の身の回りのことも妻にしてもらっている男性は少なくありません。

育児する機会が少なくケアされる立場にいと、自分より幼い、弱い者に寄り添う心と力が育ちにくいことになりま
す。ケアを受けていることは^⑩安楽かもしれませんが、大人にとって重要な心と力の発達の機会を^⑪逸していることにな
っているのです。「もう一人の子供」として夫をケアしている妻は、夫を大事にしているようであり、n 夫を一人前
とは見なしていない、そして粗大ごみ化を進めて大人への発達から疎外しているとも考えられるでしょう。

^⑫「親になる」だけではなく^⑬「親をする」ことは、このような発達を強めます。単に意識だけではなく育児力も強まる
のです。育児休暇^⑭シユトクの父親が父親全体よりも親となつてからの発達がより顕著なのはこれを示しています。

子供のことで相談に来るのはほとんど母親ですが、来談を求められて父親が相談に加わることで、子供の問題が解決に
向かう場合が少なくありません。が、それ以上に父親自身の変化が顕著です。子供のことは母親／妻まかせだった父親が
臨床相談に来て初めて子供に眼を向けさせられ、育児にも少しずつ関わるようになっての変化……これが発達です。

親子の問題は、幼少期のほか、もつと重大な問題があります。成人した子と親の関係です。

人間には育児は絶対必要です。けれどもそれは終期があるものです。育児の目標は子の自立、従つて子の自立は即「親
をする」の終期です。親は終生「親である」のですが、「親をする」は延々と続くものではなく、また続けてはo な
いものです。これがうまくいっていない—辞め時を知らず、時期を逸したケースが多いのが昨今の日本です。

延々と親の庇護を受けている成人の子、その結果は成熟の遅れです。子供にとって「一人前」になる最後の課題は、親
からの心理的自立、個体化—自分と親は独立の個体であるとの認識をもつことです。それは親の家を離れることで^⑮ソク
シンされます。これが、延々と続く親元での生活で困難になっています。

問題は親の側にも生じます。親、p 母親の、子供からの自立不全です。親が子供と独立した個体として生きてい
れば、子との分離は容易ですが、それがないために子離れ困難、不全なのです。育児は子の自立のためのもので、親の生
き甲斐のためではありません。子との分離、親と子の独立は、当然、「子別れとしての育児」なのです。

親世代が子供より経済qがあり、心身健康な時期が長くなったことが「親をする」の延長と過剰をもたらし、少
子化がそれを^⑯ジヨチヨウしました。さらに、親の愛情というものは子に「できるだけのことをしてやる」ことだとい
う考えが日本では広く^⑰流布しています。そもそも、「できるだけのことをしてやる」がプラスにはたらくのは、親がそれ
ほど裕福ではなく、また多子の場合です。それが変わってしまった今、親の「できるだけのことをしてやる」は最適性を
喪失しました。なのに、それが延々と続いていることでマイナスに作用しているのです。

柏木恵子『おとなが育つ条件』による。設問の都合で一部改めたところがある。

問九 空欄a・e・g・i・oに入る語として最も適切なものをそれぞれ次のア～カの中か
ら一つ選び、解答欄に記号で答えなさい。(それぞれ、適切な形に活用して入るものとする。同じものを二回以上
使わないこと。)

ア 得る イ 限る ウ かける エ かなう オ できる カ なる

問十 空欄bには「育児」と同じ読み方になるように作られた漢字二字の語が入ります。文脈から考えて最も適切
なものを解答欄に書きなさい。

問十一 空欄

c

・

f

・

j

・

k

・

m

・

q

に入るものとして最も適切なものをそれぞれ次のア～カの中から一つ選び、解答欄に記号で答えなさい。(同じものを二回以上、使わないこと。)

ア 化 イ 観 ウ 上 エ 性 オ 的 カ 力

問十二 傍線部①②⑤⑦⑨⑩⑪の漢字の読みを平仮名で解答欄に書きなさい。

問十三 空欄

d

・

h

・

l

・

n

・

p

に入る語として最も適切なものをそれぞれ次のア～オの中から一つ選び、解答欄に記号で答えなさい。(同じものを二回以上、使わないこと。)

ア いくら イ 実は ウ 取り分け エ 本来 オ むしろ

問十四 傍線部③④⑧⑭⑮⑯の片仮名を漢字に直して解答欄に書きなさい。

問十五 傍線部⑥⑪の意味として最も適切なものをそれぞれ次のア～オの中から一つ選び、解答欄に記号で答えなさい。

⑥ ア ある程度の成果 イ 大きな成果 ウ 最低限の成果 エ それぞれの成果
オ 当面の成果

⑪ ア 遅れさせている イ 壊している ウ 育ちにくくしている エ 逃している
オ 無視している

問十六 傍線部⑫⑬のこの文章中での意味の違いがわかるように簡潔に説明しなさい。

〔以下余白〕

<H27092181>

受験番号	万	千	百	十	一
カキ氏名					
氏名					

(所定欄以外に番号・氏名を書いてはならない)

2015年度

日本語

(解答用紙)

No. 1 / 2
採点欄

問九	問八	問七	問六	問五	問四	問三	問二	問一
a					a	②	⑬	①
e								⑪
g					b	⑦		き
i							⑭	④
o					c	⑧		⑮
								み
					d	⑨	⑯	⑤
								せ
					e	⑩		⑥
								に

(この線で二つ折りにして書きなさい)

問十六	問十五	問十四	問十三	問十二	問十一	問十
	⑥	⑭	③	d	⑰	⑦
						み
	⑪			h		される
		⑮	④	l	⑨	②
				n		え
		⑬	⑧	p	⑩	⑤
						い
						c
						f
						j
					k	
					m	
					q	

2015年度

日本語

(解答用紙)

No. 2 / 2
採点欄